

5-3 海上拠点の整備

■現況と課題

地方港湾浦河港は、建設資材や鉱石などを積み出す物流の商港として整備を進めていますが、港湾の外郭施設である防波堤が未整備のため、港内静穏度が十分に確保できず、異常気象・荒天時における貨物船の避泊が困難であり、安全な荷役作業に支障をきたしていることから、その整備が求められています。

【1】

また、浦河港は、太平洋の豊かな漁場を抱える水産業の拠点漁港であることから、沿岸漁業の振興を含めた施設整備が求められています。【2】

■今後の方向性

①安全な航路の確保と港内静穏度向上のため、南防波堤の延伸や防波堤（西島）の設置をより経済的・効率的に整備し、港湾利用の増加を図ります。【①】

②新設する防波堤（西島）は、堤体の背後を沿岸漁業振興のため水産協調型施設（海藻類の繁茂による水産動物繁殖の場）として、順次整備を進めていきます。【②】

■実施事業

- ①港湾施設補修
- ②防波堤整備